

国内初のブラインドサッカー専用コートを開設 ビジネス視点をプラスして継続的な支援を実現

さまざまなパラスポーツがある中で、株式会社丸井グループは現在、ブラインドサッカーの支援を行っている。そして日本ブラインドサッカー協会（JBFA）とパートナーシップ契約を結ぶことにより、パラスポーツ振興とビジネスへの連携を実現している。



株式会社丸井グループ



観戦会



体験会・講習会



協賛



施設貸出

企業情報

株式会社丸井グループ

【担当部署】サステナビリティ部 サステナビリティ担当
ESG推進部 ESG推進担当

【所属人数】11名

【住所】東京都中野区中野4-3-2

【電話】03-5343-0717

【URL】<https://www.0101maruigroup.co.jp/>



自社の研修施設内に ブラインドサッカー専用コートを開設

商業施設などの小売事業と金融が一体となった独自のビジネスモデルを持つ同社は、ブラインドサッカーを支援している。その支援とは一方通行なものではなく、JBFAと対等な関係を築き、お互いに相乗効果を生み出している。



沓澤氏

丸井グループとJBFAとの関わりについて説明するのは、サステナビリティ部サステナビリティ担当課長の村上奈歩氏と、チーフリーダーの沓澤（くつざわ）優子氏。

「私たち丸井グループはCSRの取組を始めた当初から、一緒により良い未来をつくって

いける企業様や団体様とつながりたい、と考えて活動してきました。その取組の過程でJBFA様と出会い、交流していく中で『すべての人が幸せを感じられる社会の実現』という当社のミッションと共鳴するものを感じ、関わりを深めてきました。」（沓澤氏）



MARUI ブラサカ!パーク

そして、「本拠地と呼べるような練習場がなくて困っている」「練習場が毎回変わり、そこへたどり着くのも大変だ」という選手や関係者の声に応え、日本初のブラインドサッカー専用練習場「MARUI ブラサカ!パーク」を

丸井グループの研修施設内にオープンさせた。このパークはブラインドサッカー日本代表チームに貸すことで使用料を得ている。それも“一方的な支援者”ではなく、“パートナー”としてパラスポーツ振興に取り組んでいるためと、沓澤氏は語る。

「JBFAの方々には当社のこともよく理解してくださっていて、パーク建設の際もいろいろな提案をしてくださりました。やはり一方的な支援だとそういった意見は言いつづくなります。お互いによいところを活かして何かを生み出すことができる『仲間』として、対等な立場が必要だと思います。」（沓澤氏）

パラスポーツ振興をビジネスにつなげて 息の長い支援を実現

丸井グループではブラインドサッカーだけにとどまらず、さまざまなパラスポーツの振興に取り組んでいる。「当社の社内イベントに『インクルージョンフェス』というものがあり、2019年には車いすラグビーやボッチャ、ブラインドサッカーなどのパラスポーツを体験してもらう機会を設けました。それは社員が実際に体験することによって障がいのある方の目線や気持ちを直に実感してもらい、同時にパラスポーツの魅力も感じてもらうためです。」（沓澤氏）



インクルージョンフェスの様子

こうした取組は、社員や消費者などの個人の意識を変えるだけでなく、ビジネス面でも効果を発揮している。「障がい者支援やパラスポーツ振興をビジネスに活かすというと、あまりよくないイメージを持たれる方もいるかもしれないが、ビジネスとの相乗効果が生まれるからこそ、一時的な支援ではなく継続的に取り組むことができ、

とても大切なことである。」と村上課長は言う。



村上課長

村上課長は「TEAM BEYONDからも成功事例やメリットをいろいろ紹介してほしい。」と言う。今はまだパラスポーツ振興やCSRに一歩踏み出せない企業もスタートしやすくなるだろうと期待を寄せている。また沓澤氏も、TEAM BEYONDに対して、

企業同士や企業とパラアスリートをつなぐ場としての活動を期待している。

コロナ禍の収束を待って、研修やイベントを再開する予定。「2020年度は『インクルージョンフェス』をオンラインとリアル店舗、両方で開催しました。オンラインでも伝わることはきっとあるので、当事者の方と相談しながら、コロナ禍でも取組を消さないようにしていきたいです。」（村上課長）



※本文については、2020年9月時点のものです。

今後の取組について

引き続き、ブラインドサッカーの支援を行っていきます。丸井という店舗を活かして、来店されるお客さまへのブラインドサッカーのご紹介や、「MARUI ブラサカ!パーク」での体験イベントを開催したいと考えています。東京2020大会以降も、より多くの方にブラサカを応援していただけるような環境づくりに貢献してまいります。